

糸魚川市のごみ処理状況等について

1 第2次糸魚川市一般廃棄物処理基本計画 目標達成状況

■ごみの減量目標

(1) 家庭系ごみの減量目標

人口一人1日当たりの家庭系ごみ量（資源除く）の目標値を、令和7年度において551gとしています。令和4年度は692gであり、近年は若干の増加傾向となっています。

項目	実績(g)			目標値(g)	
	R2年度	R3年度	R4年度	R7年度	達成率 (R4比較)
人口一人1日当たりの家庭系ごみ量 (資源除く)	679	683	692	551	79.6%
対前年度比	- %	100.6%	101.3%		

(2) 事業系ごみの減量目標

年間の事業系ごみの目標値を、令和7年度において2,118tとしています。令和4年度は令和3年度と比較して52tの減少となりました。

項目	実績(t)			目標値(t)	
	R2年度	R3年度	R4年度	R7年度	達成率 (R4比較)
年間の事業系ごみ量	2,493	2,503	2,451	2,118	86.4%
対前年度比	- %	100.4	97.9		

(3) 発生抑制の目標

人口一人1日当たりのごみ総排出量の目標値を、令和7年度において911gとしています。令和4年度は1,043gであり、近年は若干の増加傾向となっています。

項目	実績(g)			目標値(g)	
	R2年度	R3年度	R4年度	R7年度	達成率 (R4比較)
人口一人1日当たりのごみ総排出量	1,035	1,038	1,043	911	87.3%
対前年度比	- %	100.3%	100.5%		

■生活排水処理目標

生活排水処理率の目標値を、令和7年度において93.8%以上としています。令和4年度は94.6%であり、令和7年度の目標値である93.8%以上を達成しています。

項目	実績(%)			目標値(%)	
	R2年度	R3年度	R4年度	R7年度	達成率 (R4比較)
生活排水処理率	94.2%	94.4%	94.6%	93.8%以上	100.9%
対前年度比	- %	100.2%	100.2%		

2 令和4年度のごみ減量に向けた主な取組（発生抑制・排出抑制計画）

(1) 環境学習・環境教育への支援

ア ごみ減量・分別説明会の開催

ごみ減量・分別説明会を実施し、8会場243人の方から参加いただきました。

イ エコライフ出前講座（上越環境科学センター実施）

市内小学校、保育園、地区の集会等でごみの分別等の講座を実施していただき、10会場18回、延べ506人の方から参加いただきました。

(2) 施設見学会の実施

清掃センターの施設見学会を実施し、22団体369人の方から参加いただきました。

(3) 生ごみの減量（生ごみ処理機器の普及啓発）

項目	補助率等	補助個数		
		R2	R3	R4
コンポスト型	購入金額の3/4以内 上限額なし	31	56	32
堆肥化促進箱	購入金額の3/4以内 上限額なし	0	3	0
電動型	購入金額の3/4以内 上限額70,000円	13	5	7
合計		44	64	39

生ごみ処理機器の補助個数について、令和3年度と比較すると、コンポスト型は24個の減、堆肥化促進箱は3個の減、電動型は2個の増となり、令和4年度の全体数では、補助個数が25個減少しました。（令和3年度は、大雪のためコンポストの入替が例年より増加しています。）

(4) 拠点回収協力の拡充と周知

令和3年度から引き続き、新規の回収箱を購入し、入れ替えを実施しました。

また、協力店の廃業が見られることから、継続の有無並びに新規回収箱の入れ替えについてのアンケートを実施し、令和5年度以降も計画的に回収箱の入れ替えを実施する予定です。

3 令和5年度の主な取組

(1) 環境学習・環境教育への支援

出前講座によるごみの分別説明会や上越環境科学センターが実施するエコライフ出前講座を通じ、ごみの減量化やごみの処理、リサイクルの意識向上に向けて周知啓発に努めます。

(2) 施設見学会の実施

ごみの分別や処理方法の理解を深めていただくため清掃センターの見学会を実施します。

(3) ドギーバッグの利用推進

ドギーバッグ（折詰め）を利用し、食べ残しを極力減らす取組を推進します。

(4) 生ごみの減量

生ごみを減量するため、生ごみを堆肥化する生ごみ処理機器の購入助成を継続しながら、他の生ごみ減量方法も併せて周知啓発に努めます。

(5) 20・10・0（に一まる・いちまる・ゼロ）運動の推進

宴会等に参加する方達へ飲食店等からも発信し、「20・10・0運動」を推進します。

(6) イベントごみの排出抑制

お祭りなどの地域活動やイベント等におけるごみを減らすため、「イベントごみ減量化マニュアル」の普及に努めます。

(7) 拠点回収協力の拡充と周知

使用済み乾電池、蛍光管、使い捨てライター等拠点回収の協力店を拡充し、市民へ周知します。